

## ご利用の前に必ずお読みください

## SO-02Dのご利用にあたっての注意事項

## 安全上／取り扱い上のご注意

## SO-02Dのご利用にあたっての注意事項

## 安全上／取り扱い上のご注意


1261196426
12.8 (2版) 1261-1964.2

## 警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。

航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンのになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。音質が大きすぎると聴傷の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上でご使用ください。医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください!電化製品の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

## 1 本端末のご利用にあたっての注意事項

### 取り扱い上のご注意

■ 共通のお願ひ

・水をかけないでください。

本端末、ACアダプターケーブル、ドコモminiUIMカードは防水性能を有していません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、汗による湿気がかかることはおやめください。また身に付けている場合、雨による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できません場合でも料金修理となります。

●お手入れには乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

・アルコール、シンナー、ペンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたことがあります。

●端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。端子が汚れると接触が悪くなり、電源が切れたり、充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には湿気の蒸気が十分に気をつけてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●本端末などに無理な力がかけられないようにご使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れたりするなどとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に差し込んだ状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

●ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

●オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

**本端末のご利用にあたっての注意事項**

●本端末は、「モードのサイト（番組）への接続や」アプリなどには対応していません。

●本端末は、データの開閉や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サービスへの接続を維持するための通信などを自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

●公共モード（ドライブモード）には対応していません。
●本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの高音は消音されません。

●画面ロック解除画面にオペレーター名が表示されます。
●お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。ホーム画面で[電]をタップし、[本体設定]▶[端末情報]▶[端末の状態]をタップする。

●本端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。ホーム画面で[電]をタップし、[本体設定]▶[端末情報]をタップする。

●パソコンからインターネットを經由してアップデートファイルを取得し、パソコンと本端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、取扱説明書を参照ください。

●本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。そのため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。

●本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になります。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。

●紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳細な取扱説明書をご参照ください。

●方が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないよう、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認の無効化を行ってください。

●Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

●spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしていません。

●本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。

## 警告

万が一、ディスプレイやカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや飛出した本端末の内部にご使用ください。

ディスプレイの表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、アクリル樹脂を使用したガラスが飛散しにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

●内蔵電池が漏液したり、真臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

●漏液した液体に引かれ、発火、破裂の原因となります。

## 注意

●ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。本人や他人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

●本端末が破損したまま使用しないでください。火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。けがなどの事故の原因となります。

●誤ってディスプレイを破損し、液晶が濡れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

●また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で洗い流してください。

●一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●火災、環境破壊の原因となります。不要となった端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

●一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

## 3. アダプタの取り扱いについて

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。ドコモminiUIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後す次の状態）での保管
  - 極端な高温、低温は避けてください。
  - 湿度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電化機器やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

方が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。

●microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差ししたり、差し込んだ状態で引っ張ったりしないでください。

●故障、破損の原因となります。

●使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままで使用してください。

●カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。素子の過熱、焼付きを起こす場合があります。

●通常はmicroUSB接続端子カバー、HDMI接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。

●ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

●磁気カードなどを本端末に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

●本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

●内蔵電池は消耗品です。

使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきま

しては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

●ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。

●パケット定額サービスご加入の場合、パケット通信料は、「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。なお、テザリングを有効にした場合、外部機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信が「パソコン」などの外部機器を接続した通信」となります。

●外部機器での通信が終了次第、必ずテザリングを無効にしてください。

●テザリングの初期設定では、セキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。

●ご利用の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他のへの危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区別は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

**危険** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じたことが想定される」内容です。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

**危険** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じたことが想定される」内容です。

**警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

## 注意

●自動車内で使用する場合、自動メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上でご使用ください。

●車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

●お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診察を受けてください。

●各箇所の材質について→P.12「材質一覧」

●ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

●視力低下の原因となります。

●内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

●失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体が目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

## 3. アダプタの取り扱いについて

**警告** microUSBケーブルが濡らしたら使用しないでください。火災、やけど、感電の原因となります。

**注意** ACアダプターケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

**注意** DCアダプタはマイナースト専用です。プラスアース車には使用しないでください。

**注意** 雷が鳴り出したら、ACアダプタケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

**注意** 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

●ドコモminiUIMカードの取り付け/取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

●他のICカードリーダー・ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

●IC部分は、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

●お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

方が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●環境汚染のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

●ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失、故障の原因となります。

●ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

●ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをせたりしないでください。故障の原因となります。

●ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。

●本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局（免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局（免許を要しない無線局））と隣りします）が運用されています。







●本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

●万一が、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

●その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困り

のことがありましたら、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 次の絵表示の区別は、お守りいただく内容をお説明しています。

	禁止（してはいけないこと）を示します。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかるところで使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 「安全上のご注意」、下記の項目に分けて説明しています。

- 1. 本端末、ACアダプターケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）……………4
- 2. 本端末の取り扱いについて……………6
- 3. アダプタの取り扱いについて……………9
- 4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて……………11
- 5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて……………12
- 6. 材質一覧……………11

**警告** 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。火災、やけど、感電の原因となります。

**警告** 万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

**警告** 万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

**警告** お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

**警告** 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

・手入室、集中治療室（ICU）、冠状動脈陰影監視装置（CCU）には本端末を持ち込まないでください。

・病棟内では、本端末の電源を切ってください。

### 1. 本端末、ACアダプターケーブル、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

## 危険

●高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。（衣服のポケットに入れる等して身につける場合も含みます。）

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れてください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●分解、改造をしないでください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●本端末に使用するACアダプターケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。

●火災、やけど、けが、感電の原因となります。

●使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

●火災、やけどの原因となります。

**警告** 長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

**警告** 万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

**警告** 万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

## 4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

## 注意

●ドコモminiUIM

携帯電話機の比吸収率などについて
Mobile Phone GSM/GPRS/EGPRS 850/900/1800/1900 &UMTS JP/EU/US
携帯電話機の比吸収率（SAR）について
この機種 SO-02Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準 <sup>※1</sup> ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めおり、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電機種の側頭部におけるSARの最大値は1.33W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモもしくは製造メーカー推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。NTTドコモもしくは製造メーカー推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。
21

partners should remove or replaces built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Ericsson battery that has been qualified with the product per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ **Personal medical devices**

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm(8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ **Driving**

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer’s representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ **GPS/Location based functions**

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided “As is” and “With all faults”. Sony Ericsson does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ **Emergency calls**

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

## エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といふ）は、Sony Ericsson Mobile Communications AB（以下「ソニー・エリクソン」といふ）及び/又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。

ソニー・エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」といふ）を許諾します。

本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。

お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを複製してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。

お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。

本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、權益は、ソニー・エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとしま。本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限において、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。本契約の帰属法は、ソフトウェア法とします。

上記帰属法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

### 携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile Phone GSM/GPRS/EGPRS 850/900/1800/1900 &UMTS JP/EU/US

## 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 SO-02Dの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準<sup>※1</sup>ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めおり、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電機種の側頭部におけるSARの最大値は1.33W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモしくは製造メーカー推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します。NTTドコモしくは製造メーカー推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

21	22	23	24	25	26	27
----	----	----	----	----	----	----

■ **Antenna**

Use of antenna devices not marketed by Sony Ericsson could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ **Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)**

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/*

■ **Flight mode**

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

## About Open Source Software / オープンソースソフトウェアについて

## About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and any other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at <http://opensource.sonymobile.com>.

Sony Ericsson offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Ericsson.

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts\_press/fact\_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/1/sys/e/e/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib.orf/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご利用になる場合の SAR の測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.
Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

21	22	23	24	25	26	27
----	----	----	----	----	----	----

■ **Malware**

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ **Accessories**

Use only Sony Ericsson branded original accessories and certified service partners. Sony Ericsson does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ **Disposal of old electrical and electronic equipment**

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Ericsson Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ **Disposal of the battery**

Check local regulations or call a Sony Ericsson Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ **Memory card**

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

## オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) 及び/またはその他の著作権ライセンス、免責事項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL 及びその他のライセンス、免責事項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「(未完情報)」から参照いただけます。著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

ソニー・エリクソンは、Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden 宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL 及びその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用(メディア費用、物流費用、取扱い費用等)を負担いただくことを条件に、CD-ROM にて配布いたします。

上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニー・エリクソンにより販売されてから3年間有効なものとしま。

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受け場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様ご自身の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

## Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

### United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT’S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES. The SO-02D mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits\* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide. The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.87 W/kg\*, and when worn on the body is 0.69 W/kg\* for speech and 1.10 W/kg\* for data calls. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.

For devices which include \*WiFi hotspot functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm. Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

21	22	23	24	25	26	27
----	----	----	----	----	----	----

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

### Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ **Precautions on memory card use**

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ **Protection of personal information**

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Ericsson does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

27	28	29	30	31	32	33
----	----	----	----	----	----	----

## 知的財産権について

## 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的での複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

### 商標について

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 「FOMA」「iモード」「アプリ」「ファミロ」[soモード]「ケータイデータお祭りサービス」[おまかせロック]「mopera」[mopera U]「公共モード」[エリアメール]「eトレサリ」[dメニュー]「dマーケット」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- 「Liquid Identity」[i.ロジ]「Xperia」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「PlayStation」、「プレイステーション」、「」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Media Software and Servicesの商標または登録商標です。
- 「Sony」「WALKMAN」はソニー株式会社の登録商標です。

\*\* Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure\*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID PY7A380136. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at <http://www.ctia.org/>.

• In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

\*\* This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

21	22	23	24	25	26	27
----	----	----	----	----	----	----

## Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

## FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference, and
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user’s authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

## Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

This device complies with RSS-210 of Industry Canada.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

- 「POBox」および「POBox」ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。
- 「POBox」は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDロゴはSD-3C、LLCの商標です。

- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Google」[Google]ロゴ、「Google Play」[Google Play]ロゴ、「Google+」[Gmail]「Google トーク」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LM Ericssonの商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社mixiの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI, the HDMI Logo, and High-Definition Multimedia Interface, are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- 「Microsoft」[Windows]「Outlook」[Windows Vista]「Windows Server」[Windows Media]と「ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を保製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずにか用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び/又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されていないコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

### Europe

This mobile phone model SO-02D has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.

While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User’s Guide.

SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand): The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 1.33 W/kg (10g).

## Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

■ **Recommendations for care and safe use of our products**

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C(+41°F) and above +35°C(+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C(+140°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.

21	22	23	24	25	26	27
----	----	----	----	----	----	----

## Declaration of Conformity for SO-02D

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of Nya Vattentornet SE-221 88 Lund, Sweden

declare under our sole responsibility that our product

**Sony Ericsson type AAD-380136-BV** and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 511:V9.0.2, EN 301 908-1:V4.2.1, EN 301 908-2:V4.2.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 300 440-2:V1.4.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1, EN 301 489-24:V1.5.1, EN 301 489-37:V1.4.1 and EN 60 950-1:2006+A11:2009+A1:2010 following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive 1999/5/EC.

21	22	23	24	25	26	
----	----	----	----	----	----	--